

生徒アンケートの結果を受けて

今年度も昨年度同様、コロナウイルス感染予防対策を取りつつ、生徒たちが生き生きと生活できる環境づくりを模索しながらの教育活動となりました。そんな中、ほとんどの生徒は学校生活に喜びや充実感を感じながら過ごしていたと分析しております。医療現場に従事されている方々に思いを寄せ、学校の仲間と共に時間を共有するなどといった、当たり前前の生活が当たり前前にできるありがたさを実感してくれていました。

生徒アンケートの結果は、ほとんどの項目において3、0の数値を上回っています。しかも2「**学校行事や部活動に取り組む姿勢**」、3「**自他を大切にする人権意識**」は高い評価となっています。コロナウイルス感染拡大によってなかなか実施困難な学校行事でしたが、その取組を大切にしていこうとする生徒の思いが伝わってきます。また自他を大切にする人権意識が高評価であったことは、非常に喜ばしいことです。とはいえ、中学生期の心情の変化は激しいものです。今後も生徒一人一人が自他ともに大切にできる人権意識をもてるよう、生徒に寄り添う支援体制を築いてまいります。

また6「**落ち着いた活気ある学校**」、8「**分かりやすい工夫した授業**」、9「**いじめや暴力を許さない雰囲気**」、10「**健康な心と体づくりの取組**」、11「**困ったときに相談できる教職員の存在**」の5項目では昨年度の数値を上回っています。引き続き高評価となるよう、取り組んでまいります。

逆に高い評価を示しているといえども、1「**あいさつ、身だしなみ、時間を守るなどの生活態度**」、2「**学校行事や部活動に取り組む姿勢**」、3「**自他を大切にする人権意識**」、4「**進んで学習に取り組む姿勢**」、5「**体力づくりに励む姿勢**」、7「**学力向上の努力**」の6項目は昨年度の評価を下回っています。

コロナ禍でいかに体力や学力を向上させていくべきか、十分検討してまいります。特に4「**進んで学習に取り組む姿勢**」の数値については3、0を下回っているため、ICT機器の有効活用を図り、生徒自ら主体的に楽しく学習に取り組めるよう、工夫してまいります。

コロナウイルス感染拡大が未だ先行き不透明な状況ではありますが、学校行事や地域と連携した活動など、できることを探しつつ新たな発想の転換によって、生徒が充実した学校生活を送れるよう教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

